

「いのちの授業」を開催しました

【令和5年1月13日】

かけがえのない生命の尊さについて理解するとともに、自他の生命を尊重する態度・姿勢を育むことを目的に、1年次生を対象とした「いのちの授業」を開催しました。講師には、岐阜県総合医療センター新生児内科医長の寺澤大祐^{てらざわだいすけ}医師をお招きしました。

寺澤医師は「いのちの理由～コウノドリの現場から、あなたへ～」をテーマに、ご自身関わっている新生児医療の現場から、いのちのはかなさ、大切さについてお話しいただきました。重い病気をもって生まれた赤ちゃんに、親さんが1ヵ月ごとにお誕生会を開いた話など、新生児の救命と治療に日々奮闘してされる中での、数々のエピソードも交えていただきました。

そして、自分自身がかけがえのない存在であることとともに、「いのちの理由」は「自分の役割を全うすること」と締めくくられました。

寒い体育館での実施になりましたが、生徒たちは静かに講師の話に耳を傾け、自分が生まれてきた理由、生きる理由について考え、時には涙ぐみながら聴き入っていました。今回の講演は、生徒だけでなく職員にとっても、生命と向き合う大切な機会となりました。

